

[TOP](#) > [グルメ](#) > [カフェ、スイーツ、パン](#) > ガラス扉の向こうに、素朴な贅沢。大和町「souvenir Cafe(スーヴニールカフェ)」

シェア

ツイート



## ガラス扉の向こうに、素朴な贅沢。大和町「souvenir Cafe(スーヴニールカフェ)」

2022.02.28 UP 西武新宿線沿線西エリア JR中央線沿線エリア 投稿者：区民レポーターソルト

[\[グルメ\]](#) [\[カフェ、スイーツ、パン\]](#) [\[区民レポーター\]](#)

大和町が好きな区民レポーターのソルトです。とくに早稲田通り沿いには、思い入れがあります。

このところ西武新宿線沿線での買い物が増えて、かつて毎日のように歩いていた早稲田通り界隈の情報収集がおろそかになっていました。2021年10月に個性的なカフェができたことに、不覚にも年末まで気づかなかったとは…。

これはぜひ訪問を、と待ち遠しく年を越し、1月下旬にようやくその「souvenir Cafe (スーヴニールカフェ)」へ出かけました。



中野区大和町にあるカフェ。早稲田通りに面し、杉並区高円寺に隣接。

入り口がガラスで見通しがよくなっており、店内の混雑や雰囲気、外からでも確認できます。初めてのお店に緊張してしまう人でも、入店しやすい造りです。



入り口には、自慢のトーストを紹介するメニューが。飲み物など、すべてのメニュー価格もすぐ脇の壁で案内されています。

JRの駅で最寄りが高円寺駅ですが、中野駅から行く場合は、阿佐ヶ谷駅に向かう関東バス(阿45)に乗り、バス停「高円寺通り」で下車すると便利です。また、距離はありますが西武新宿線「野方駅」からも散歩がてらに歩ける距離でもあります。環七通り沿いを早稲田通りまで進み、突き当たったら右折するだけです迷いません。

## 店内の紹介

お店に入ると、すぐに店主が笑顔で出迎えてくれます。そして持ち帰りか店内利用かの確認があります。持ち帰り希望ならば、その場所で受け取りと支払いができてしまうのでとてもスピーディー。テイクアウトは飲み物だけではなく、パイや焼き菓子もあります。

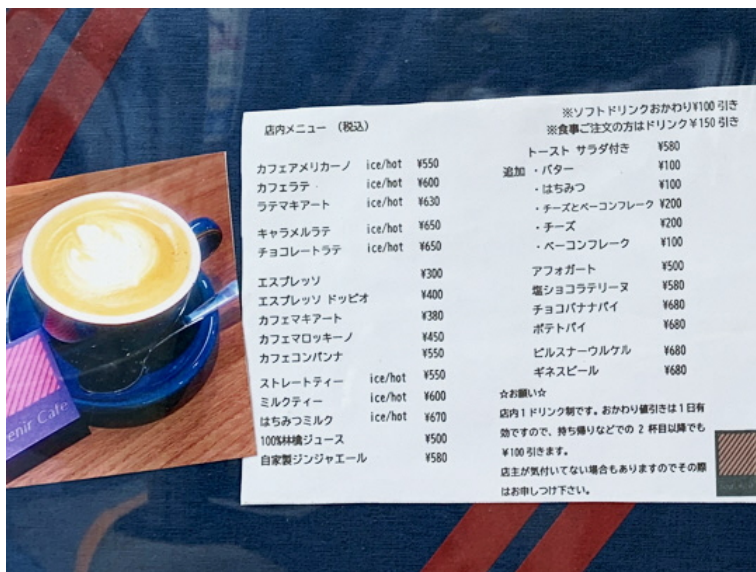
店内利用であれば、入り口から左手側の空間を奥へと進みます。こちら写真は、内側から玄関方向(早稲田通り)を撮影しました。



店内から入り口方向を撮影。撮影位置から後方には、2人掛け用のテーブルがふたつあります。

店内は、10名前後が利用できます。訪問した平日の午後3時半では、わたしと同行者も含め半分ほど席が埋まっていました。

さて何はともあれ、まずはオーダーです。わくわくします。



写真は、店頭には貼ってあったメニューです(価格は変わることがあり、これは取材時現在のものです)。テーブルにも、その日に食べられるおやつの説明を含めたメニューがありました。

家ではいつもレギュラーコーヒーを飲んでいるので、店に寄るとメニューに目移りしてしまいます。あれこれ迷った末に、わたしはラテマキアート、同行者がチョコレートラテを頼みました。

手前が、ラテマキアート(630円/税込)です。



カフェラテの上にミルクのきめ細やかな泡(フォーム)がトッピングされています。下のカフェラテ部分は熱いのですが、フォームと一緒に飲むことで、適温を楽しむことができます。

ところで、わたしはホットな飲み物に使える透明なカップ(耐熱、強化ガラス)に興味があり、通販でも見てまわっているのですが、こうした持ち手が付いていないグラスもよいですね。飲み物の温かさを感じることで、美味しさをより引き出してくれそうです。



チョコレートラテ(650円/税込)です。チョコレートが沈殿するので、かき混ぜつつ飲むとよいそうです。見た目もきれいですし、体も温まります。

訪問した時間帯の都合で、トーストがオーダーできなかった(食べ切れそうになかった)ことが、残念でなりません。練馬区の「パーラー江古田」で焼いたパンを使用しているそうで、このカフェの自慢のメニューです。

さて、店内写真をもう1枚ご紹介します。



souvenir Cafeの店内画像をまとめました。左側が店内奥のテーブル。中央がキッチン。右側写真はキャビネットとお手洗い。色合いも調度品もシンプルで心地よく、主張しすぎない都会的な雰囲気が感じられます。

## 地域に愛されるカフェに

店主にお店の開業までについて、お話を聞きました。

店主は以前に練馬区のパーラー江古田で喫茶部門に勤め、飲み物の担当をしているうちに、開業を検討したとのこと。そしてその開業資金を貯めるため、運送業をされていたそうです。大変体力を使う仕事をしつつ準備を進め、満を持しての開店となりました。

なぜ大和町に出店したのか質問すると、店主自身が以前から阿佐ヶ谷、高円寺、荻窪の界隈に暮らし慣れていたことにより、候補として近隣を検討したのがきっかけだそうです。

通りの向かい側は大部分が杉並区高円寺ですが、そちらには若い人向けも含めたカフェが多い一方、通りのこちら側(大和町)には、カフェが少ない。そのため、開店からまだ3ヶ月(取材時)ではあっても、年齢層が高めの方も含めて大和町界隈のお客様がよく利用してくれるというお話でした。たしかにわたしが訪問した際も、周囲の会話などから店が地元で溶けこんでいる様子が伺えました。

こうして記事を書きながらあらためて店内を思い浮かべると、その印象は「じっくりと考え抜かれた、コンセプトのある店」ということです。客が落ち着けるすっきりしたデザイン。店主が動きやすい機能的な厨房。そして店名の意味(souvenir/旅の土産)につながる、エアメール封筒の色合いの看板ロゴ。心遣いの行きとどいた、素敵なお店です。

ごちそうさまでした。またおじゃまします。

### souvenir Cafe (スーヴニールカフェ)

所在地: 中野区大和町1-31-5 Ksビルディング1F

電話番号: 080-6295-2488

定休日: 第1/第3/第5日曜、木曜 (変更がある場合はSNS等で告知)

営業時間: 7:30 - 18:30、第2/第4 日曜 9:00~18:30

アクセス: 関東バス停留所「高円寺通り」から徒歩2分 / JR高円寺駅から徒歩9分

★ 公式Instagramは [コチラ](#)



※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。